

ひらば

パリーグの最優秀救援投手 大塚投手が母校の敬愛高校で講演



長いベナントレースの期間中、抑えの切り札として活躍し、最優秀救援投手賞を手にしたプロ野球、近鉄バファローズの大塚晶文投手が、このほど母校の横芝敬愛高校を訪れ「我が人生の目標」と題した講演を行いました。

大塚投手は、高校時代「練習は裏切らない」を信じて野球に打ち込んだ日々や、大学、社会人での色々な人との出会いが、今の自分にとって大きな財産となったことなどを話すとともに「君たちも夢を持ち続け、勉強やスポーツに努力してもらいたい」と後輩たちを激励しました。

「マウンドでは三振しか狙っていない」という強心臓の大塚投手、来期もぜひ頑張ってください。

◆大塚選手のプロフィール

横芝敬愛高校から東海大学へ進学。社会人野球の日本通運を経て、平成8年にドラフト2位で近鉄バファローズに入団。昨年は、3勝2敗35セーブの成績で、パリーグのセーブポイント新記録を樹立。最優秀救援投手賞を受賞。

第7ブロックが2連覇

第24回横芝町民駅伝大会

1月17日(日)、ふれあい坂田池公園陸上競技場をスタート・ゴールとする10区間、14・35kmの周回コースで第24回横芝町民駅伝大会が開かれました。

今年は、例年とコースが変わり、坂田池公園陸上競技場まで戻って来る初めてのコースで行われ、成東警察署の白バイ隊が先導をつとめました。この日は風もなく、穏やかに晴れわたった絶好の駅伝日和。各ブロックからの代表120人のみなさんは、それぞれの区間で自慢の健脚を競い合いました。

主な結果は、次の通りです。

◆総合

- 第1位 第7ブロック(栗山)
- 第2位 第3ブロック(小堤・寺方・曾根合・於幾・坂田)
- 第3位 第8ブロック(鳥喰)

◆区間賞

- 第1区 石橋八恵子(1)
 - 第2区 斉藤 元嗣(8)
 - 第3区 藤井 一孝(6)
 - 第4区 伊藤 真帆(4)
 - 第5区 小関 訓(3)
 - 第6区 桜井 透(5)
 - 第7区 早川梨絵子(5)
 - 第8区 伊藤 真也(10)
 - 第9区 福島 正明(7)
 - 第10区 吉岡 博己(2)
 - 奥崎 真琴(7)
- ()内はブロック
— 敬称略



2連覇を達成した第7ブロック(栗山)のみなさん

区間賞を獲得したみなさん